

SANNIX

for Energy, for Environment

Photovoltaic Solution

Total Sanitation

Environmental Resources Development

2019年3月期 第3四半期 決算説明会

株式会社サニックス

2019年 2月14日

1. 2019年3月期 第3四半期 決算概況 P.3

2. 2019年3月期 通期 業績見通し P.16

【免責事項】

本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報による判断に基づくものです。従いまして、以下の要因をはじめとする様々な要因により、将来時点における実際の収益及び業績は、業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

日本の景気動向、「再生可能エネルギーの固定買取制度」の動向および当該制度に関わる電力会社の動向、他の業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の当社の予測を超える様々な要因。

本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。

(注)

- ・ 数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 営業利益、経常利益、当期純利益の”△”表記は、それぞれ営業損失、経常損失、当期純損失を表します。
- ・ 比率がマイナスあるいは1000%を超える値の場合「－」で表示しております。



for Energy, for Environment
Photovoltaic Solution
Total Sanitation
Environmental Resources Development

1. 2019年3月期 第3四半期 決算概況

第3四半期 連結決算概況

(単位：百万円)

	2018/3期	2019/3期				
	3Q累計実績	3Q累計実績	前年同期比	前年同期差異	計画	計画差異
売上高	36,571	37,037	101.3%	+ 465	36,815	+ 221
売上総利益	10,420	11,197	107.5%	+ 777	10,911	+ 286
(売上高売上総利益率)	28.5%	30.2%			29.6%	
営業利益	773	978	126.5%	+ 204	813	+ 164
(売上高営業利益率)	2.1%	2.6%			2.2%	
経常利益	558	938	168.2%	+ 380	793	+ 144
(売上高経常利益率)	1.5%	2.5%			2.2%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	341	193	56.5%	△ 148	151	+ 41
(売上高四半期純利益率)	0.9%	0.5%			0.4%	

- ①売上高 人員等経営資源を配分し事業規模の拡大を進めたことによりH S事業部門、E S事業部門がそれぞれ増収となり、新電力事業に係る電力販売量が拡大したことにより環境資源開発事業部門が増収となりました。その一方で、太陽光発電に係る市場規模縮小等の影響を受けS E事業部門は大幅な減収となりました。この結果、グループ全体の売上高は37,037百万円（前年同期比1.3%増）となりました。
- ②利益 増収を背景としてH S事業部門、E S事業部門、環境資源開発事業部門はそれぞれ増益となりました。その一方で、減収幅が大きかったS E事業部門は大幅な減益となりました。この結果、グループ全体の損益は、978百万円の営業利益（前年同期比26.5%増）、938百万円の経常利益（前年同期比68.2%増）、北海道胆振東部地震により被災した苫小牧発電所設備の原状回復費見込額427百万円を災害による損失として特別損失に計上したことから193百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益（前年同期比43.5%減）となりました。

第3四半期 セグメント別損益実績

(単位：百万円)

	2018/3期		2019/3期				
	3Q累計実績	売上比	3Q累計実績	売上比	前年同期比	計画差異	計画売上比
売上高	36,571		37,037		101.3%	+ 221	
SE部門	12,846	35.1%	9,664	26.1%	75.2%	+ 208	25.7%
HS部門	6,765	18.5%	8,074	21.8%	119.4%	△ 154	22.4%
ES部門	1,045	2.9%	1,385	3.7%	132.5%	+ 34	3.7%
環境資源開発部門	15,914	43.5%	17,913	48.4%	112.6%	+ 133	48.3%
売上総利益	10,420	28.5%	11,197	30.2%	107.5%	+ 286	29.6%
販売費・一般管理費	9,646	26.4%	10,219	27.6%	105.9%	+ 121	27.4%
営業利益	773	2.1%	978	2.6%	126.5%	+ 164	2.2%
SE部門	1,347	(10.5%)	513	(5.3%)	38.1%	+ 3	(5.4%)
HS部門	1,103	(16.3%)	1,704	(21.1%)	154.5%	△ 80	(21.7%)
ES部門	130	(12.5%)	196	(14.2%)	150.4%	+ 10	(13.7%)
環境資源開発部門	502	(3.2%)	1,088	(6.1%)	216.8%	+ 281	(4.5%)
配賦不能	△ 2,310	—	△ 2,524	—	—	△ 50	—

・各セグメントの営業利益の売上比は、各セグメントの売上高に対する比率を（ ）内に表示しております。

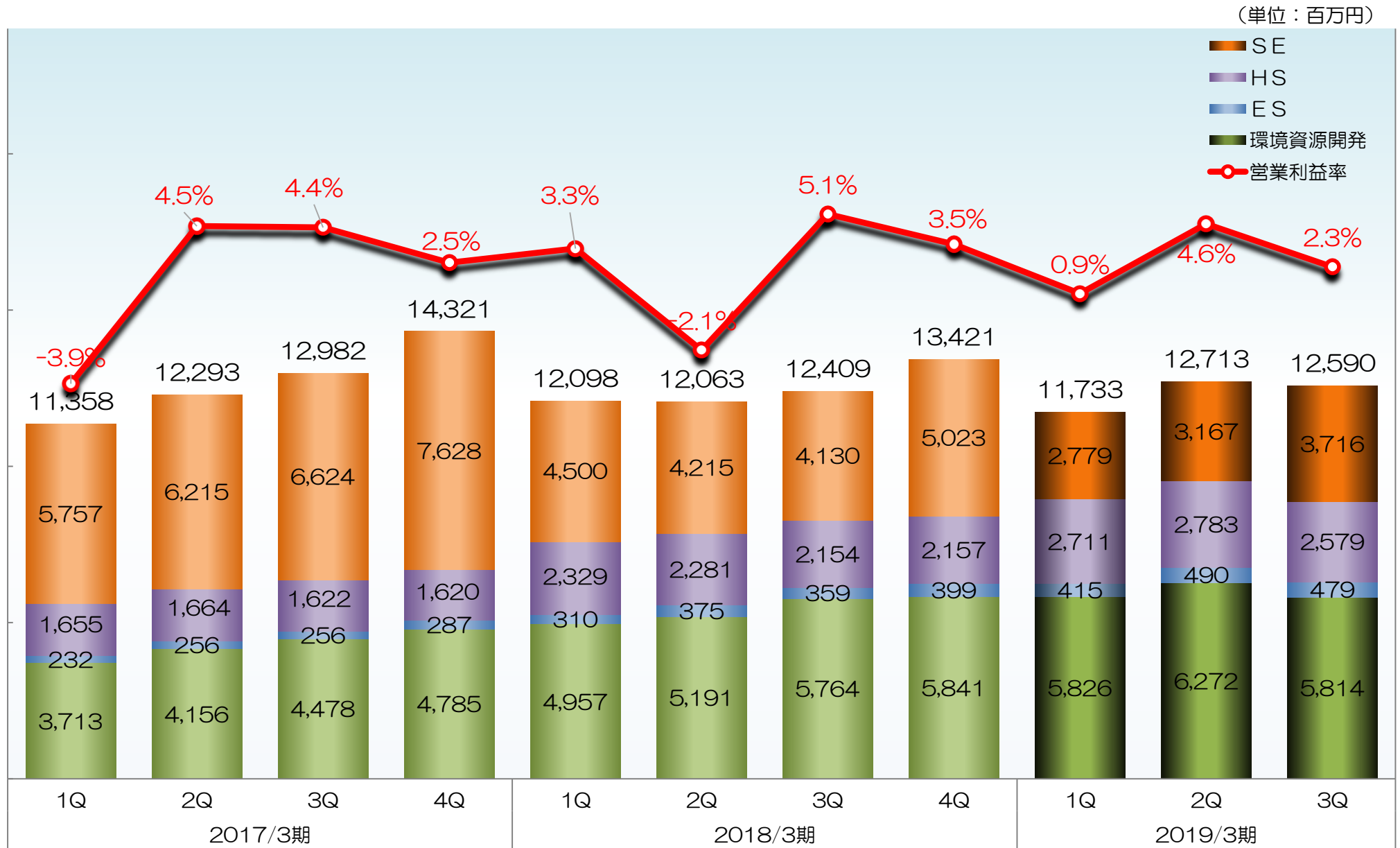
【参考】セグメント別四半期実績の推移

(単位：百万円)

	2018/3期				2019/3期					
	3Q		4Q		1Q		2Q		3Q	
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比
売上高	12,409		13,421		11,733		12,713		12,590	
S E 部門	4,130	33.3%	5,023	37.4%	2,779	23.7%	3,167	24.9%	3,716	29.5%
H S 部門	2,154	17.4%	2,157	16.1%	2,711	23.1%	2,783	21.9%	2,579	20.5%
E S 部門	359	2.9%	399	3.0%	415	3.5%	490	3.9%	479	3.8%
環境資源開発部門	5,764	46.5%	5,841	43.5%	5,826	49.7%	6,272	49.3%	5,814	46.2%
売上総利益	3,735	30.1%	3,624	27.0%	3,540	30.2%	3,963	31.2%	3,694	29.3%
販売費・一般管理費	3,100	25.0%	3,151	23.5%	3,436	29.3%	3,378	26.6%	3,404	27.0%
営業利益	634	5.1%	473	3.5%	103	0.9%	584	4.6%	289	2.3%
S E 部門	409	(9.9%)	321	(6.4%)	△ 88	—	143	(4.5%)	458	(12.3%)
H S 部門	353	(16.4%)	367	(17.1%)	580	(21.4%)	658	(23.6%)	466	(18.1%)
E S 部門	31	(8.9%)	49	(12.4%)	52	(12.6%)	76	(15.6%)	67	(14.1%)
環境資源開発部門	559	(9.7%)	470	(8.0%)	439	(7.5%)	522	(8.3%)	126	(2.2%)
配賦不能	△ 719	—	△ 735	—	△ 880	—	△ 816	—	△ 828	—

・各セグメントの営業利益の売上比は、各セグメントの売上高に対する比率を（ ）内に表示しております。

セグメント別売上高の推移



第3四半期 セグメント別実績【SE事業部門】

(単位:百万円)

	2018/3期		2019/3期				
	3Q累計実績	売上比	3Q累計実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高合計	12,846		9,664		75.2%	9,455	
太陽光発電システム							
施工売上	11,858	92.3%	9,142	94.6%	77.1%	8,962	94.8%
卸販売	816	6.4%	400	4.1%	49.0%	382	4.0%
その他	171	1.3%	121	1.3%	70.9%	110	1.2%
売上原価	8,551	66.6%	6,557	67.9%	76.7%	6,383	67.5%
うち、材料費等*	5,533	43.1%	4,016	41.6%	72.6%	4,070	43.0%
うち、労務費	1,125	8.8%	772	8.0%	68.7%	752	8.0%
売上総利益	4,294	33.4%	3,106	32.1%	72.3%	3,071	32.5%
販売費・一般管理費	2,947	22.9%	2,593	26.8%	88.0%	2,562	27.1%
うち、人件費	1,294	10.1%	1,275	13.2%	98.5%	1,272	13.5%
その他	1,652	12.9%	1,318	13.6%	79.7%	1,289	13.6%
営業利益	1,347	10.5%	513	5.3%	38.1%	509	5.4%

*材料費等は、材料費と消耗品費を合算しております。

「太陽光発電システム」が減収となりました。太陽光発電における市場規模縮小による影響に加え、F I Tの事業計画認定に想定以上の遅れがあり、全体的に後ズレする状況となりました。この結果、売上高は9,664百万円(前年同期比24.8%減)と減収幅が大きくなりました。

営業損益は、H S事業部門への人員の異動等により経費削減、材料原価の低減等を推進しましたが、減収による減益幅が大きく、513百万円の営業利益(前年同期比61.9%減)となりました。

【参考】SE事業部門損益の四半期推移

(単位：百万円)

	2018/3期				2019/3期					
	3Q		4Q		1Q		2Q		3Q	
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比
売上高	4,130		5,023		2,779		3,167		3,716	
売上原価	2,813	68.1%	3,756	74.8%	2,018	72.6%	2,155	68.1%	2,383	64.1%
材料費等 [※]	1,873	45.4%	^① 2,758	54.9%	1,246	44.8%	1,335	42.2%	1,434	38.6%
労務費	351	8.5%	308	6.1%	269	9.7%	253	8.0%	249	6.7%
外注加工費	174	4.2%	301	6.0%	111	4.0%	187	5.9%	284	7.7%
その他	414	10.0%	387	7.7%	391	14.1%	378	11.9%	414	11.1%
売上総利益	1,316	31.9%	1,267	25.2%	761	27.4%	1,011	31.9%	1,333	35.9%
販売費・一般管理費	906	22.0%	946	18.8%	849	30.6%	868	27.4%	875	23.6%
人件費	424	10.3%	475	9.5%	415	14.9%	431	13.6%	428	11.5%
その他	481	11.7%	471	9.4%	434	15.6%	436	13.8%	447	12.0%
営業利益	409	9.9%	321	6.4%	△ 88	—	143	4.5%	458	12.3%

※ 材料費等は、材料費と消耗品費を合算しております。

①2018/3期4Qの材料費等は、自社製パワコンコンディショナに係る棚卸資産の評価を見直した結果、棚卸資産評価損として401百万円を計上しております。当該評価損の影響を除いた場合の売上比は46.9%となります。

第3四半期 セグメント別実績【HS事業部門】

(単位：百万円)

	2018/3期		2019/3期				
	3Q累計実績	売上比	3Q累計実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	6,765		8,074		119.4%	8,229	
白蟻防除施工	1,970	29.1%	2,623	32.5%	133.1%	2,582	31.4%
床下・天井裏換気システム	946	14.0%	1,328	16.5%	140.4%	1,290	15.7%
基礎補修・家屋補強工事	1,428	21.1%	1,600	19.8%	112.1%	1,761	21.4%
その他	2,419	35.8%	2,521	31.2%	104.2%	2,595	31.5%
売上原価	3,039	44.9%	3,248	40.2%	106.9%	3,319	40.3%
うち、労務費	903	13.4%	996	12.3%	110.3%	1,005	12.2%
売上総利益	3,726	55.1%	4,826	59.8%	129.5%	4,910	59.7%
販売費・一般管理費	2,622	38.8%	3,121	38.7%	119.0%	3,125	38.0%
うち、人件費	1,660	24.5%	1,918	23.8%	115.6%	1,956	23.8%
営業利益	1,103	16.3%	1,704	21.1%	154.5%	1,784	21.7%

HS事業部門の事業規模拡大を目的に、異動及び採用により人員増を図り、一般家屋に係るメンテナンスについて提案をきめ細かく行えるよう営業及び施工体制を強化しました。「白蟻防除施工」が前年同期比33.1%増、「床下・天井裏換気システム」が同40.4%増、「基礎補修・家屋補強工事」が同12.1%増となり、この結果、売上高は8,074百万円（前年同期比19.4%増）となりました。

営業損益は、人員増により人件費等のコストが増加したものの、増収幅が大きかったことや、施工効率の改善や外注加工費率の低下などにより、1,704百万円の営業利益（前年同期比54.5%増）となりました。

限界利益率・損益分岐売上高の推移

■SE事業部門の推移

	2018/3期				2019/3期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
限界利益率 (%)	48.4	49.2	46.3	43.7	44.1	45.7	48.6
月平均固定費 (百万円/月)	578	525	499	488	437	434	449
損益分岐売上高 (百万円/月)	1,193	1,067	1,078	1,118	985	934	916

2018/3期4Qの限界利益率については、材料費に含まれる棚卸資産評価損401百万円は除く。

■HS事業部門の推移

	2018/3期				2019/3期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
限界利益率 (%)	71.2	70.5	73.2	74.5	75.6	76.0	74.3
月平均固定費 (百万円/月)	399	412	403	407	489	485	483
損益分岐売上高 (百万円/月)	561	584	551	547	620	628	638

※売上高に占める変動費(材料費・外注加工費等)を除いた率を限界利益率として表示。

損益分岐売上高＝固定費÷限界利益率

第3四半期 セグメント別実績【ES事業部門】

(単位：百万円)

	2018/3期		2019/3期				
	3Q累計実績	売上比	3Q累計実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	1,045		1,385		132.5%	1,350	
売上原価	551	52.8%	666	48.1%	120.7%	662	49.1%
うち、労務費	133	12.8%	160	11.6%	120.1%	158	11.7%
売上総利益	493	47.2%	718	51.9%	145.7%	688	50.9%
販売費・一般管理費	362	34.7%	522	37.7%	144.0%	502	37.2%
うち、人件費	226	21.6%	312	22.5%	138.0%	303	22.5%
営業利益	130	12.5%	196	14.2%	150.4%	185	13.7%

ES事業部門の事業規模拡大を目的に、異動及び採用により人員増を図るとともに、ビル・マンション等のオーナーに対する営業強化、管理会社等提携先の関係強化を図ることで、主力商品である「防錆機器取付施工（商品名：ドールマンショック）」が前年同期比85.3%増となり、この結果、売上高は1,385百万円（前年同期比32.5%増）となりました。

営業損益は、人員増により人件費等のコストが増加したものの、増収幅が大きかったことや、施工効率の改善や外注加工費率の低下などにより、196百万円の営業利益（前年同期比50.4%増）となりました。

第3四半期 セグメント別実績【環境資源開発事業部門】

(単位：百万円)

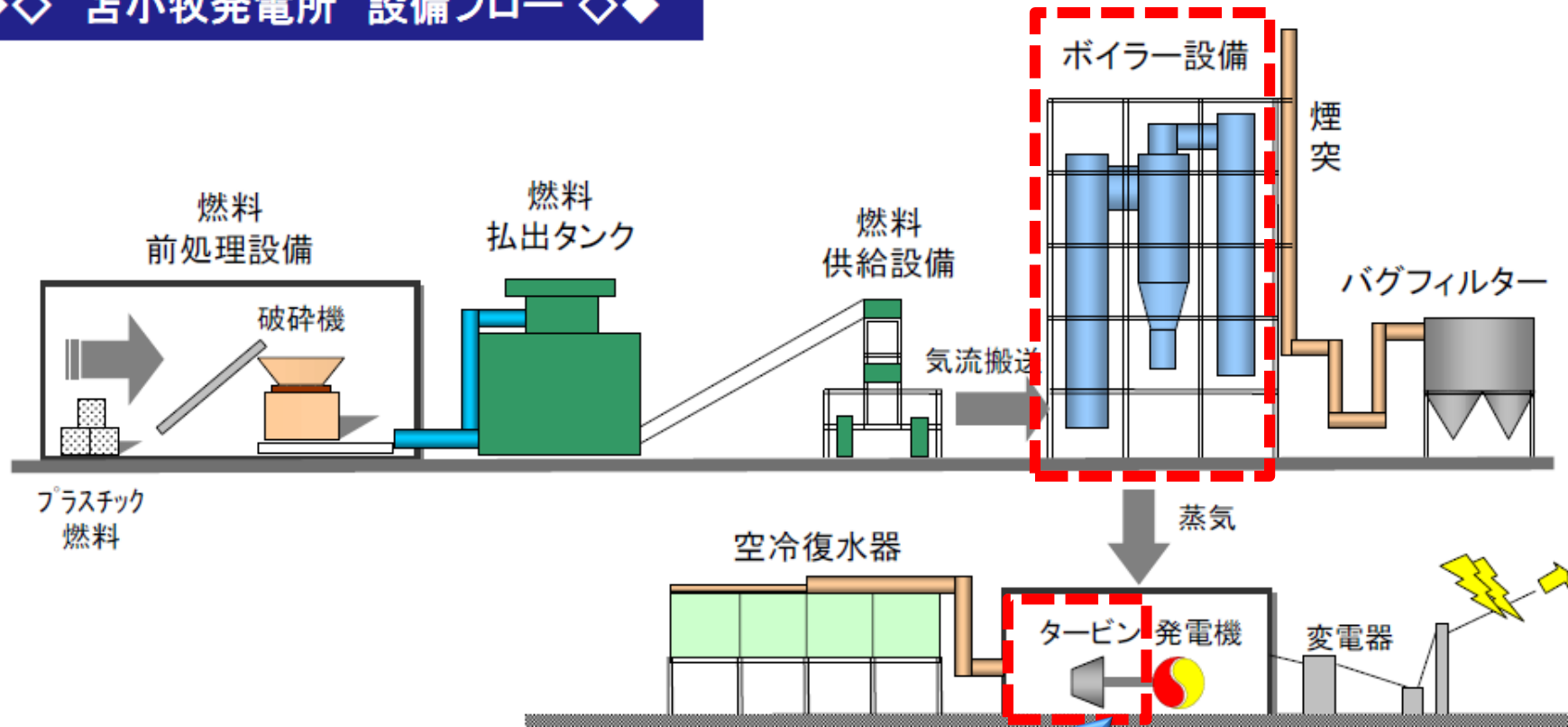
	2018/3期		2019/3期				
	3Q累計実績	売上比	3Q累計実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高合計	15,914		17,913		112.6%	17,779	
プラスチック燃料	5,712	35.9%	6,451	36.0%	112.9%	6,236	35.1%
売電収入	7,830	49.2%	8,939	49.9%	114.2%	9,054	50.9%
有機廃液処理	1,332	8.4%	1,413	7.9%	106.1%	1,430	8.0%
埋立処理	519	3.3%	595	3.3%	114.7%	540	3.0%
その他	518	3.3%	512	2.9%	98.7%	517	2.9%
売上総利益	1,905	12.0%	2,545	14.2%	133.6%	2,241	12.6%
販売費・一般管理費	1,403	8.8%	1,457	8.1%	103.8%	1,433	8.1%
営業利益	502	3.2%	1,088	6.1%	216.8%	807	4.5%

プラスチック燃料の品質重視により受入物件の精査を進め、かつ受入量も堅調に推移し「プラスチック燃料」が前年同期比12.9%増となり、北海道胆振東部地震により苫小牧発電所が停止し減収要因となりましたが、新電力事業の取扱高が拡大し、「売電収入」が前年同期比14.2%増となりました。この結果、売上高は17,913百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

営業損益は、苫小牧発電所停止が減益要因となったものの、プラスチック燃料の品質重視などによる収益性改善により原価低減が進んだことや、新電力事業における増収及び電力調達コストの安定化策等が奏功したことにより、1,088百万円の営業利益（前年同期比116.8%増）となりました。

苫小牧発電所の復旧状況

◆◆ 苫小牧発電所 設備フロー ◆◆



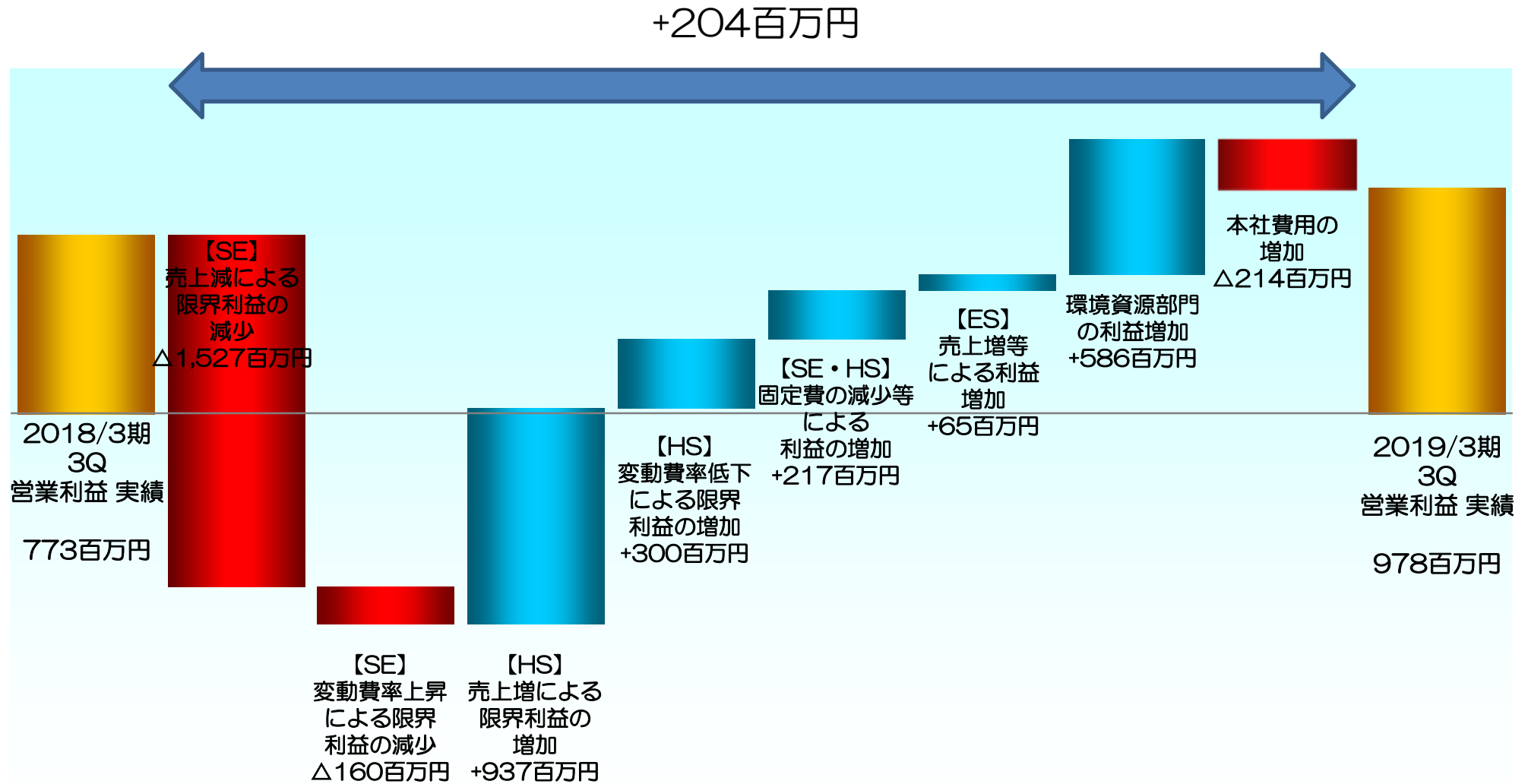
【影響額】

売上高	▲11.9億円
営業利益	▲11.6億円
特別損失	4.2億円

停止期間に、2020年3月期に実施を予定していたボイラー及びタービンの法定点検を前倒しで実施

3月より予定通り稼動再開の予定

【参考】 営業利益 増減理由 (第3四半期_前期対今期)





for Energy, for Environment
Photovoltaic Solution
Total Sanitation
Environmental Resources Development

2. 2019年3月期 通期 業績見通し

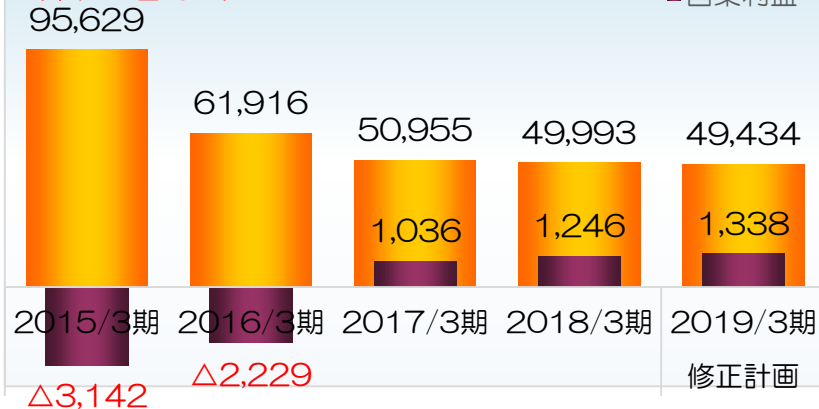
業績見通しは2018年11月13日に発表した計画から変更ありません。

(単位：百万円)

	2018/3期	2019/3期		
	実績	修正計画	前期比	前期差異
売上高	49,993	49,434	98.9%	△ 558
売上総利益	14,044	14,735	104.9%	+ 690
(売上高売上総利益率)	28.1%	29.8%		
営業利益	1,246	1,338	107.3%	+ 91
(売上高営業利益率)	2.5%	2.7%		
経常利益	1,019	1,290	126.6%	+ 270
(売上高経常利益率)	2.0%	2.6%		
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,180	534	45.3%	△ 645
(売上高当期純利益率)	2.4%	1.1%		

売上高・営業利益の推移

(単位：百万円)



通期業績は、HS・ES事業で堅調に売上高が伸長する一方、SE事業は市場縮小の影響を受け減収となり、さらに苫小牧発電所が震災の影響で2019年3月初旬まで稼働できないことから、減収を見込んでおります。

利益面については、売上高が前期より減収となるものの、利益率の高いHS・ES事業の拡大や、費用の見直しによるコスト削減により、営業利益、経常利益は前期を上回る見込みであります。ただし、苫小牧発電所の原状回復費用を災害による損失として427百万円を特別損失に計上するため、親会社株主に帰属する四半期純利益は前期を下回る見通しであります。

【参考】2019年3月期 セグメント別業績進捗状況

業績見通しは2018年11月13日に発表した計画から変更ありません。

(単位:百万円)

	2018/3期		2019/3期					
	通期		3Q累計			通期		
	実績	売上比	実績	売上比	進捗率	修正計画	売上比	前期差異
売上高	49,993		37,037		74.9%	49,434		△ 558
S E 部門	17,870	35.7%	9,664	26.1%	73.0%	13,243	26.8%	△ 4,626
H S 部門	8,922	17.8%	8,074	21.8%	73.8%	10,938	22.1%	+ 2,015
E S 部門	1,444	2.9%	1,385	3.7%	77.9%	1,778	3.6%	+ 334
環境資源開発部門	21,755	43.5%	17,913	48.4%	76.3%	23,473	47.5%	+ 1,717
売上総利益	14,044	28.1%	11,197	30.2%	76.0%	14,735	29.8%	+ 690
販売費・一般管理費	12,798	25.6%	10,219	27.6%	76.3%	13,397	27.1%	+ 599
営業利益	1,246	2.5%	978	2.6%	73.1%	1,338	2.7%	+ 91
S E 部門	1,668	(9.3%)	513	(5.3%)	45.8%	1,121	(8.5%)	△ 546
H S 部門	1,471	(16.5%)	1,704	(21.1%)	75.3%	2,262	(20.7%)	+ 791
E S 部門	179	(12.5%)	196	(14.2%)	81.5%	240	(13.5%)	+ 60
環境資源開発部門	972	(4.5%)	1,088	(6.1%)	111.6%	975	(4.2%)	+ 3
配賦不能	△3,045	—	△2,524	—	77.4%	△3,262	—	△ 217
経常利益	1,019	2.0%	938	2.5%	72.8%	1,290	2.6%	+ 270
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,180	2.4%	193	0.5%	36.1%	534	1.1%	△ 645

・各セグメントの営業利益の売上比は、各セグメントの売上高に対する比率を（ ）内に表示しております。

今期の課題

SE事業部門

- ・市場動向に適した体制の構築
- ・新たな販売方法の開発（土地付太陽光、蓄電池等）

HS事業部門

- ・人員、拠点の増加
- ・新規顧客獲得

ES事業部門

- ・紹介案件増に向けアライアンスの拡大・強化
- ・ペストコントロールの拡充

環境資源開発事業部門

- ・廃プラスチック受入単価交渉の継続
- ・発電所の効率的な稼働、燃料品質の改善
- ・新電力事業の需要家拡大

本社部門

- ・業務改善に向けたシステム構築
- ・部門横断的なコスト削減

現在の進捗状況

- ・買取価格低下に対応するべく、原材料の低減、組織・人員体制の見直しにより、コスト対応は進んでいる。
- ・来期の買取価格案（14円/kWh）が発表され、来期に向けた営業活動も並行して実施。

- ・主力の各商品がそれぞれ前年実績を上回っており、底上げがされている。
- ・12月に倉敷営業所を開設（今期4店舗目）。人員も前期末に対して70名以上増加し体制強化を図っている。

- ・人員増加により顧客管理の強化を図り、前期に続き、防錆機器の販売拡大に大きな成果が出ている。
- ・アライアンスの強化が図れており、提携先数は前々期比で約4倍、前期に対しては1.3倍となっている。（2018年12月現在）

- ・苫小牧発電所は2019年3月稼働再開に向け、予定通り復旧を行っている。原状回復のほか、来年度実施予定であったタービン・ボイラーの法定点検についても前倒しで実施。
- ・プラスチック燃料の品質重視による受入物件の精査。

- ・営業面での、コスト削減・省力化・生産性向上を図るべく、書類の電子化、新システムの導入・拡大中。

2019年3月期 セグメント別見通し【SE事業部門】

業績見通しは2018年11月13日に発表した計画から変更ありません。

(単位:百万円)

	2018/3期		2019/3期					
	通期		3Q累計			通期		
	実績	売上比	実績	売上比	進捗率	修正計画	売上比	前期差異
売上高合計	17,870		9,664		73.0%	13,243		△ 4,626
太陽光発電システム								
施工売上	16,647	93.2%	9,142	94.6%	72.3%	12,642	95.5%	△ 4,004
卸販売	1,026	5.7%	400	4.1%	84.8%	472	3.6%	△ 554
その他	196	1.1%	121	1.3%	94.7%	128	1.0%	△ 68
売上原価	12,308	68.9%	6,557	67.9%	75.2%	8,723	65.9%	△ 3,584
うち、材料費等※	8,291	46.4%	4,016	41.6%	70.1%	5,729	43.3%	△ 2,562
うち、労務費	1,433	8.0%	772	8.0%	79.4%	972	7.3%	△ 460
売上総利益	5,562	31.1%	3,106	32.1%	68.7%	4,519	34.1%	△ 1,042
販売費・一般管理費	3,893	21.8%	2,593	26.8%	76.3%	3,398	25.7%	△ 495
うち、人件費	1,769	9.9%	1,275	13.2%	74.8%	1,704	12.9%	△ 65
その他	2,124	11.9%	1,318	13.6%	77.8%	1,693	12.8%	△ 430
営業利益	1,668	9.3%	513	5.3%	45.8%	1,121	8.5%	△ 546

※材料費等は、材料費と消耗品費を合算しております。

SE事業部門は、太陽光発電市場における規模縮小の影響を受けており、前期比大幅な減収を見込んでおります。FITにおける事業計画申請に係る認定手続きの遅れによる工事着工のズレが発生していましたが、第3四半期以降は遅れが解消しつつあり、第3四半期だけを見ると売上高は修正計画を上回っております。

利益については、人員配置見直しによる人件費やその他固定費の低減に加え、部材等のコストダウンも概ね想定した範囲で進捗しており、営業利益目標を達成できる見込であります。

2019年3月期 セグメント別見通し【HS事業部門】

業績見通しは2018年11月13日に発表した計画から変更ありません。

(単位:百万円)

	2018/3期		2019/3期					
	通期		3Q累計			通期		
	実績	売上比	実績	売上比	進捗率	修正計画	売上比	前期差異
売上高	8,922		8,074		73.8%	10,938		+ 2,015
白蟻防除施工	2,628	29.5%	2,623	32.5%	79.3%	3,309	30.3%	+ 680
床下・天井裏換気システム	1,254	14.1%	1,328	16.5%	78.6%	1,691	15.5%	+ 436
基礎補修・ 家屋補強工事	1,957	21.9%	1,600	19.8%	66.9%	2,391	21.9%	+ 434
その他	3,081	34.5%	2,521	31.2%	71.1%	3,545	32.4%	+ 463
売上原価	3,975	44.6%	3,248	40.2%	72.5%	4,480	41.0%	+ 504
うち、労務費	1,213	13.6%	996	12.3%	74.1%	1,345	12.3%	+ 132
売上総利益	4,947	55.4%	4,826	59.8%	74.7%	6,458	59.0%	+ 1,511
販売費・一般管理費	3,475	39.0%	3,121	38.7%	74.4%	4,195	38.4%	+ 719
うち、人件費	2,204	24.7%	1,918	23.8%	72.2%	2,656	24.3%	+ 452
営業利益	1,471	16.5%	1,704	21.1%	75.3%	2,262	20.7%	+ 791

HS事業部門は、SE事業部門からの異動による増員及び中途採用を行い、既存顧客管理体制の強化が進んでおり、好調に推移しております。売上高は修正計画に対し若干遅れがあるものの、新規顧客の開拓を強化することで達成できる見込みであります。

利益については、人員増及び売上高増などにより費用は増加していますが、増収基調は継続しており、修正計画の達成を見込んでおります。

限界利益率・損益分岐売上高の推移

■SE事業部門の推移

	2018/3期			2019/3期		
	上半期	下半期	通期	上半期実績	下半期修正計画	通期修正計画
限界利益率 (%)	48.8	44.9	46.8	44.9	48.4	46.9
月平均固定費 (百万円/月)	551	494	522	430	408	419
損益分岐売上高 (百万円/月)	1,130	1,101	1,117	958	844	901

2018/3期4Qの限界利益率については、材料費に含まれる棚卸資産評価損401百万円は除く。

■HS事業部門の推移

	2018/3期			2019/3期		
	上半期	下半期	通期	上半期実績	下半期修正計画	通期修正計画
限界利益率 (%)	70.8	73.8	72.3	75.8	73.6	74.7
月平均固定費 (百万円/月)	405	405	405	473	489	481
損益分岐売上高 (百万円/月)	573	549	561	624	665	644

※売上高に占める変動費(材料費・外注加工費等)を除いた率を限界利益率として表示。

損益分岐売上高 = 固定費 ÷ 限界利益率

2019年3月期 セグメント別見通し【ES事業部門】

業績見通しは2018年11月13日に発表した計画から変更ありません。

(単位:百万円)

	2018/3期		2019/3期					
	通期		3Q累計			通期		
	実績	売上比	実績	売上比	進捗率	修正計画	売上比	前期差異
売上高合計	1,444		1,385		77.9%	1,778		+ 334
売上原価	755	52.3%	666	48.1%	75.3%	884	49.7%	+ 129
うち、労務費	180	12.5%	160	11.6%	76.9%	209	11.8%	+ 28
売上総利益	689	47.7%	718	51.9%	80.4%	894	50.3%	+ 204
販売費・一般管理費	509	35.3%	522	37.7%	80.0%	653	36.7%	+ 143
うち、人件費	313	21.7%	312	22.5%	78.3%	398	22.4%	+ 84
営業利益	179	12.5%	196	14.2%	81.5%	240	13.5%	+ 60

ES事業部門は、SE事業部門からの異動による増員及び中途採用を行い、ビル・マンション等の管理会社とのアライアンス活動等を強化し、新規顧客の開拓、既存顧客のアフター体制を拡充した結果、「防錆機器取付施工（商品名：ドールマンショック）」を中心に好調に推移しており、現在の取り組みを継続することで計画は達成できる見込みであります。

利益については、下半期も堅調な増収が見込めることから修正計画を達成し、上積みを図っていく考えであります。

業績見通しは2018年11月13日に発表した計画から変更ありません。

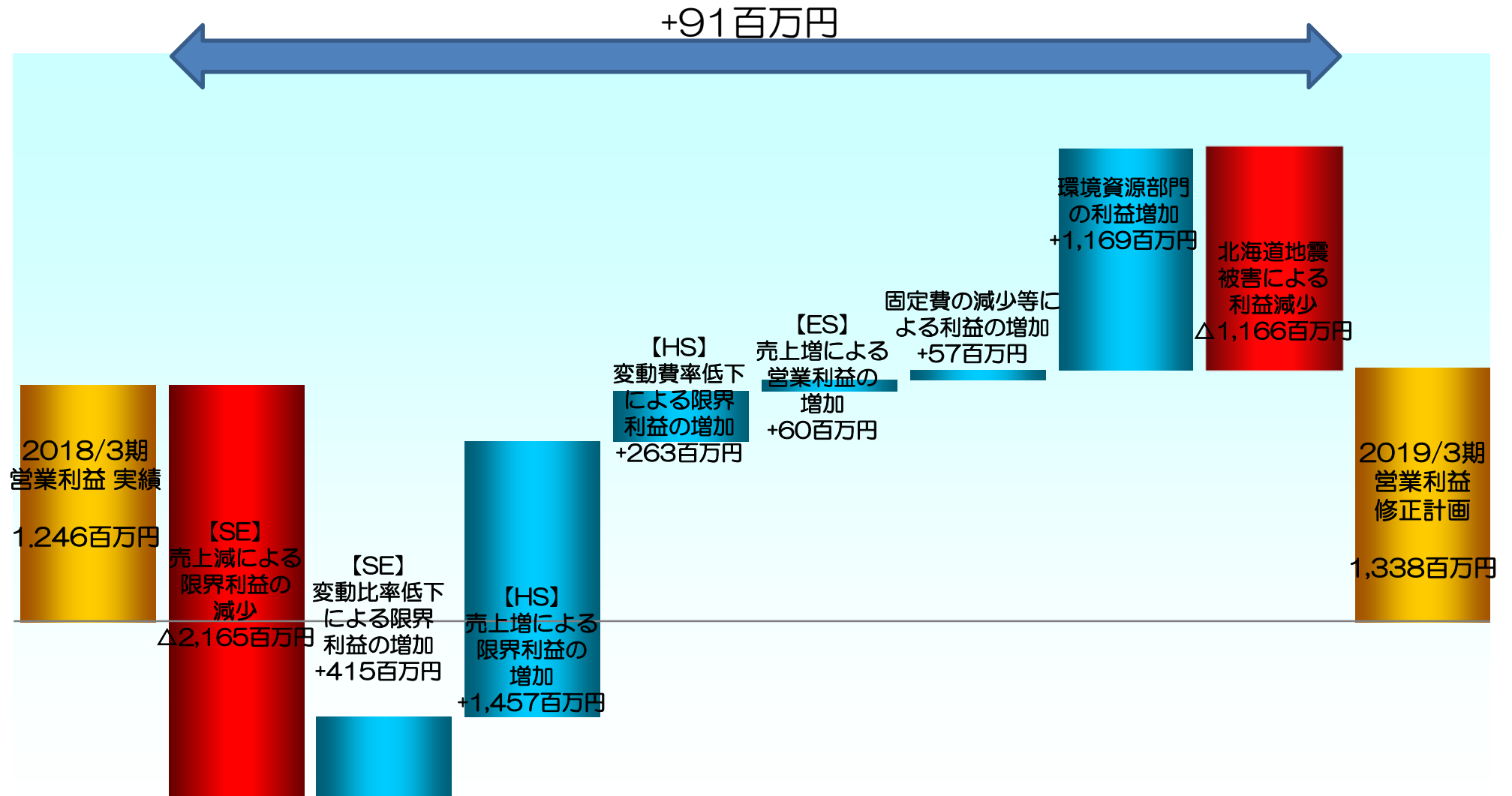
(単位:百万円)

	2018/3期		2019/3期					
	通期		3Q累計			通期		
	実績	売上比	実績	売上比	進捗率	修正計画	売上比	前期差異
売上高合計	21,755		17,913		76.3%	23,473		+1,717
プラスチック燃料	7,556	34.7%	6,451	36.0%	79.4%	8,122	34.6%	+566
売電収入	11,095	51.0%	8,939	49.9%	73.9%	12,096	51.5%	+1,001
有機廃液処理	1,748	8.0%	1,413	7.9%	73.6%	1,920	8.2%	+172
埋立処理	654	3.0%	595	3.3%	90.7%	657	2.8%	+2
その他	701	3.2%	512	2.9%	75.7%	676	2.9%	△24
売上総利益	2,846	13.1%	2,545	14.2%	88.9%	2,863	12.2%	+17
販売費・一般管理費	1,873	8.6%	1,457	8.1%	77.2%	1,887	8.0%	+14
営業利益	972	4.5%	1,088	6.1%	111.6%	975	4.2%	+3

環境資源開発事業部門は、2018年9月に発生した地震の影響により苫小牧発電所の運転が停止しましたが、原状回復工事は予定通りに進んでおり、2019年3月初旬頃に再開できる見通しであることから、中間決算時に修正した計画を達成できるものと見込んでいます。

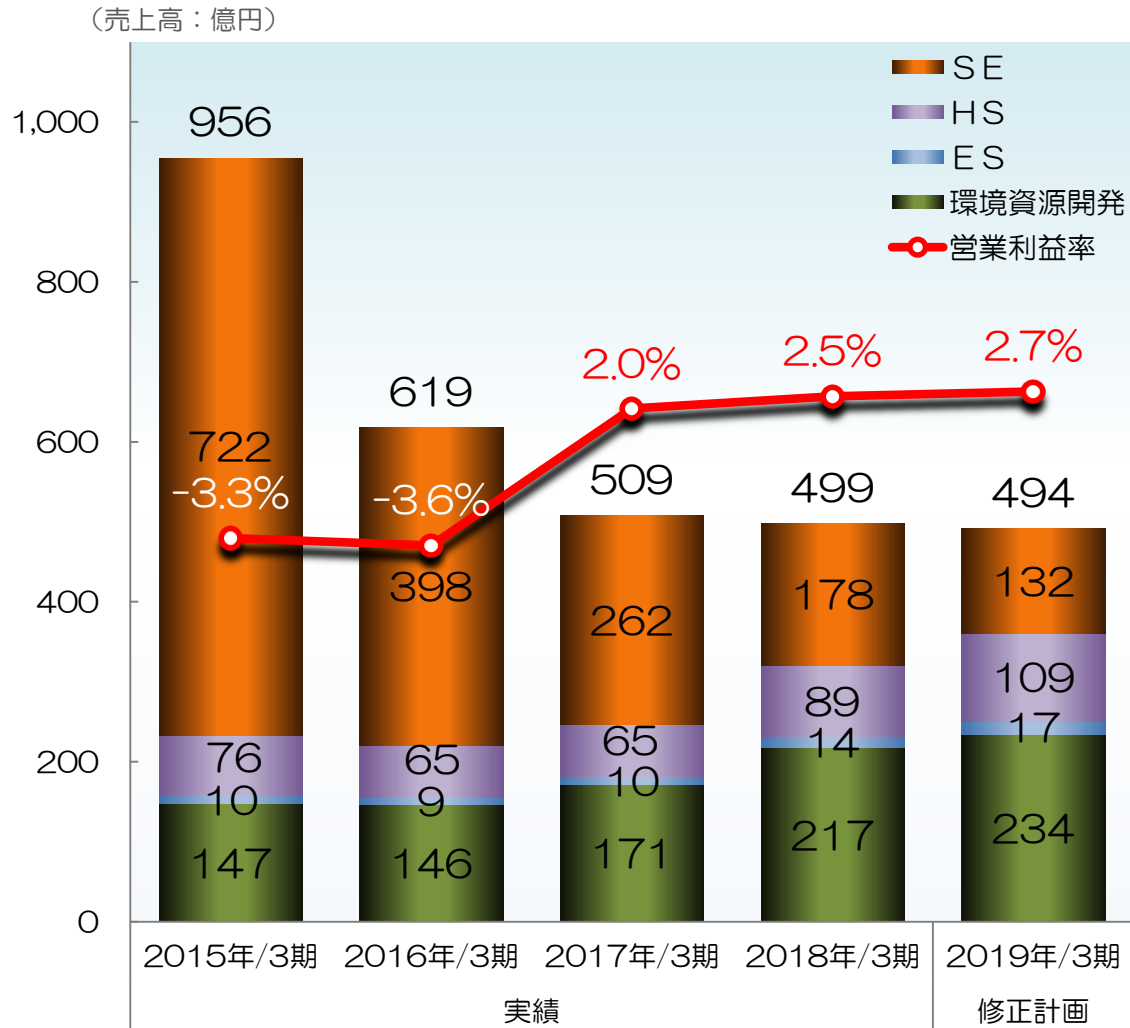
利益については、法定点検等の修繕費が月ズレとなっているものの、3月再開の計画は変わらないため、11月に発表した修正計画の変更はいたしません。

【参考】 営業利益 増減理由 (前期実績対修正計画)



業績見通しは2018年11月13日に発表した計画から変更ありません。

■2019年3月期セグメント別売上高・営業利益率の見通し



2019年3月期見通し

売上高： **49,434**百万円

営業利益： **1,338**百万円

営業利益率： **2.7%**